

エスペラント ★

Verda Placo 2015 Vintro

みどりのひろば 2015年 冬

N-ro 29

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Paro de ŝafoj ligne faritaj de TADA Rjuĵi

はりま・神戸合同のエスペラント祭を開催。

はりま、神戸の両エスペラント会は、12月13日午後1時からイーグレ姫路で合同エスペラント祭を開催した。”La Espero” 斉唱、はりまの稲田会長のあいさつから始まった。

塚本（はりま）が総合司会をした。自己紹介、図書紹介（中道、塚本）、それに女性会員準備のお茶とお菓子をいただきながら、図書販売のための休憩にはいった。

記念撮影の後、今年の関西大会での寸劇のDVD上映で盛り上がった。エスペラントの朗読は磯貝（神戸）の”La Unua Kongreso Esperantista en Boulogne”、馬場（はりま）の柳田國男「やせ我慢」”Obstineco pro fiero”と続いた。”S-ro Papero”を三鍋、中村、大前、馬場、それに入会1ヶ月の水谷が実演指導した。第100回世界大会の紹介を磯貝（神戸）、クイズ ”Kiu estas mia nomo?”「私はだれでしょう？」などを楽しみ、最後に神戸木村会長のあいさつに、”La Tagiĝo”を斉唱し4時半に終了した。

5時から会場の近くの割烹”森富”で忘年会を行った。17名が参加した。ゆっくりした時間の中で、思い思いの話をしながら、くつろいだ。図書販売は、43点、56,811円であった。



参加者は（神戸）赤田義久，磯貝尚武，中道民広，湊田京，
木村英二，龍田文子，森下綱子，山本登美子，藤田紘子，
佐々木弘正，高見友之，
（はりま）稲田正昭，塚本 猛，久保田俱視，中村雅子，多田龍二，
馬場祝栄，吉田信子，大前知子，三鍋ひとみ，水谷一志，
（元会員）塩谷えり子（大本竹田別院）小林正幸，津本みはる
（池田）岩田好兼 以上25名 （文責 多田）

2014年度 はりま・神戸合同ザメンホフ祭に参加して 大前知子

12月13日（土）にイーグレ姫路にて催されました。新しく入会された若い人、KLEG 以外の方も合わせて25名の参加でした。遠方からのご参加は本当に有りがたい事でした。“La Espero”斉唱から始まり、開会挨拶、自己紹介、図書を紹介へと進んでいきました。出し物としてはりま有志から”S-ro Papero”を披露しましたが、何かをしなればという皆の気持ちで何回か練習をした結果でした。思いの外、皆様に喜んで頂けた事は幸いでした。関西大会から続き絆が深くなったように思います。エスペラント朗読、等、興味深く、聞かせて頂きました。私自身、段々とエスペラントが好きになってきたと思います。エスペラントで繋がる仲間って本当にいいものですね。閉会挨拶後、“La Tagigo”斉唱で fino となりました。楽しいザメンホフ祭だったとおもいます。皆様、本当に有難うございました。

国際交流スプリングフェスティバルに参加

日時： 3月1日(日) 10時～15時30分

場所：イーグレひめじ 3, 4F

時間： 内容：入門講座、展示など

皆様のご協力をお願いします。

姫路国際交流フェスティバルに参加して

中村雅子

10月26日、大手前公園での「ひめじ国際交流フェスティバル」に参加しました。展示の準備は多田さんと塚本さんが、来場者への景品（プレゼント）の用意は馬場さんがしてくれました。私をはじめ女性陣はニコリ笑って呼び込み役です。

今回の展示では 著名なエスペランチストの写真を掲げて「この人は誰？」と問うクイズが良かったとおもいます。私も「へえ～この人こんな顔だったの？なかなかハンサムじゃん」などと思いながら楽しみました。馬場さんの手編みの花びん敷きという豪華景品ももらえて、参加した人は得をしたと思います。

今回は高校生から30代くらいのわりと若い人たちがエスペラントに関心を持って訪れてくれたように思います。その中で水谷一志さんが後日連絡をくれて、はりまエスペラント会に入会したことは本当にうれしいことです。

次回の国際交流フェスもいろいろ工夫して、多くの市民にエスペラントの存在を知ってもらい、欲を言えば一緒にエスペラントを学習し、楽しむ仲間を増やしていけたらと思います。

参加した方々 中村、松田、稲田、馬場、大前、多田、塚本 （中川）（青木）



2014 年を振り返って、そして 2015 年に向かって

馬場祝栄

2014 年は私のエスペラント人生を、私なりに大きく飛躍した年だと思います。なぜなら、今までにはただエスペラントを楽しみながら勉強していただけでした。しかし、本年度関西エスペラント大会が姫路で

開催され、そのスタッフとして参加させてもらい、大変勉強になりました。本当に一つの行事を行うには大変な労力がいると思います。今までこういう大会はそんなに興味がありませんでしたが、実際に実行し感じたことはそれは、実にきめ細やかな計画、配慮がなされているということです。発見です。頭が下がりました。そんな中で私たち姫路のメンバーは寸劇をしました。それも失敗続きだったけどより皆と仲良く慣れました。そして何ととっても、良かったのはこの大会で沢山のエスペランチストと出会えたことでしょう。若い方たちも結構参加していました。これからは関西大会に毎回参加し、再会を楽しみ、エスペラントの世界につかりたいと思いました

2015年の私の夢はやはりもっとエスペラントを勉強し、エスペラントで会話を楽しみたいということです。そのためには単語を覚えなくてははいけませんね。ヒアリングもしっかりしないといけません。先日、神戸との合同ザメンホフ祭で短い柳田邦夫の民話を朗読しました。こういう風に文を覚えるのも良いので今年の一つずつ挑戦しようと思っています。最近世の中がおかしくなっています。まるで戦前の日本ようです。私達は今こそ「武器では地球を救えない」と訴えなければいけません。今日の朝日新聞 12/22 の天声人語に心を打たれました。「、、[テロリスト]達の行為は許されないが彼らを暴力に走らせる怪物、すなわち貧困、無知、憎悪などは武器だけでは解決できるものではない。ここはマララさんの語った（一人の子供、一人の先生、一冊の本・一本のペンで世界を変えることができるのです）を思い出したい。惨劇に怒り、マララさんを称賛するだけでなく、ささやかでも私たちにできることはないだろうか。本物の希望をもたらす柔らかい支援というものを、」本当に私は最後の戦争遺児として考えていく務めがあるのではと思っています。

*** 永遠に続きし道エスペラント その道に咲く花になりたし**

これはエスペラントを勉強し始めた頃の短歌です。

*** 次世代へ平和な世界つなぎゆく 武器ではあらずエスペラントで**

これは今の心境です。

水谷一志会員の入会あいさつ

Saluton! Mi estas Kazushi Mizutani.

私は、学生時代から外国の文化に関心があり、大学時代は、西洋の歴史を勉強する学科に所属していました。そして、大学を卒業し、

社会人として、とある福祉施設に勤めだしてから、「最近、外国の文化に触れるような活動、していないなあ。」と思い始め、ちょうどその時に、知人より、はりまエスペラント会のことを聞き、少し話を聞いてみよう、と思いました。元々私は、「エスペラント」という言葉があることは知っていましたが、その中身（具体的な単語や文法等）や、それを考案したザメンホフの精神については、全くと言っていいほど知りませんでした。そのような私でしたが、先日の国際交流フェスティバルにて、また塚本さん、多田さんに個別に時間をとって頂いて、エスペラントの話を聴くうちに、この、はりまエスペラント会での活動は、自分に合っているなと思い、この活動に参加しよう、と決意しました。

私は、外国の言葉や、文化、また国際交流などの活動に、とても強い関心を持っていますので、はりまエスペラント会を通して、そのような活動ができればと思っています。例えば、（この会に入ったばかりの私が、こんなことをいきなり言うのは恐縮ですが）海外へ行き、海外の人とエスペラントを用いて交流する、そして、自分の行った国の、文化に触れる、また、エスペラントだけでなく、その国の言葉も（できるだけ）覚える、といったことです。また、エスペラントと直接関係ないかもしれませんが、最近なまりがちだった、英語力の強化にも、取り組みたいと思っています。

さらに、エスペラントの考案者である、ザメンホフの、世界平和を愛する精神も、素晴らしいものであると思います。最近の国際情勢は、例えばロシアのクリミア侵攻や、イスラム国の台頭など、世界平和とは、かけ離れた状態にあると思います。ですが、そんな状況下でも、例えばマララ・ユスフザイさんのノーベル平和賞受賞など、世界にとって明るいニュースもあります。私は、この会への参加を通して、そういった、世界平和に貢献するような活動も、できればと考えています。このような私ですが、どうぞよろしくお願い致します。



水谷一志さん（27歳，市川町）が11月に入会しました。なお、KLEGの青年会員の規約に準拠して、35歳未満の会費を半額2200円にすることにしました。ご了解ください。

はりまエスプラント会の会計報告 (2014年)

2014年1月～12月

項目	収入	支出	残高	備考
会費	112,200			含稲田さん5年分
例会参加費	7,200			姫路, 加古川
KEK62 余剰金	167,263			関西エスプラント大会
Z 祭余剰金	4,751			含忘年会余剰金
寄付	2,440			委員会交交通費
KLEG 会費		70,750		
例会会場費		13,952		姫路, 加古川
Verda Placo		8,000		4号(プリント代)
事務用品		3,062		封筒, 宛名ラベル ktp
通信費		19,440		LM, VP 発送 ktp
広報活動費		10,549		展示 ktp
計	293,854	125,753	168,101	
前年の繰越	78,330			
翌年へ繰越			246,431	

会費：4,400円×25(のべ人数) + 2,200円×1

例会参加費：例会参加者による会場費負担金。

KEK62 余剰金：第62回関西エスプラント大会の剰余金分配金。

Z 祭剰余金：神戸との合同ザメンホフ祭の剰余金分配金。

KLEG 会費：月額250円/人(24人×6カ月, 23人×6カ月)

月額125円/人(青年会員)(1人×2カ月)

Verda Placo：毎号50部プリント。会員に配布の他、KLEG加盟グループに、KLEG事務所経由で配布。また、日本エスプラント協会(JEI)と岡山エスプラント会にも。広報活動費：ひめじ国際交流フェスティバル(10月) 出展料(7200円) 他。なお、関西大会準備等の費用は対象外。(峰

さんと中村さん<姫路>の管理分と合わせて、塚本<加古川>が集計

学習例会の記録 Kie, kiam, kiuĵ kunvenis kaj kune lernis?

<姫路><姫路：イーグレ第4会議室>

10月23日 中村、大前、三鍋、馬場、稲田

11月27日 中村、大前、三鍋、馬場、水谷、塚本

12月25日 中村、大前、三鍋、馬場、中川、山岸

“ペーパーさんと王様” エス記と朗読練習、CDエクスプレス

<加古川：加古川総合文化センター>学習例会は午後2時～4時

10月19日 フェスティバル準備休み

11月16日 塚本、多田、馬場

12月21日 ザメンホフ祭代休

作文課題の復習、“Katrina malfruas”, の輪読、訳 k t p

今後の例会予定 Kie, kiam ni kunvenos?

★**姫路** (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

1月22日、2月26日、3月19日、4月23日

2月7日(土) 14:00-ボランティア室

*2月から、月1回土曜日午後にボランティア室で学習会の予定

★**加古川** (午後2時～4時, 加古川文化センター第3会議室)

1月18日、2月15日、3月15日、4月19日

“Turismo en Harima regiono”作成予定

編集後記: 昨年は関西大会の後、新体制になり、秋のフェスティバル、ザメンホフ祭といろいろありました。新人も入り、新しい年に向かって、さらにレベルアップと拡大に頑張りましょう。

エスペラント文がないのが少しきっかりです。

アイデアと英知を集めて結集しましょう。Vivu Harima!

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 29 2015年 1月17日

発行: はりまエスペラント会 (671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 稲田正昭)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp